

私たちの  
名張

# どんな街をつくっていく？

---すみよい名張をめざす懇談会 9月の案内---

と き **9月29日(金)** 午後1時半～4時半

ところ **武道交流館 いきいき・会議室**

てーま

- ① 名張市財政を年次でたどれば市政がよく見える！
- ② フリートーク



どなたでもお気軽にお出でください。お待ちしております。(会場費等のため100円をご用意ください。)

8月例会では、

ママたち、地域の声・行動 と 4人の議員の活動が

市教育委員会の「後期実施計画」の見直しとなり、学校統廃合の先延ばしとなった。

## ① 市教育委員会の「後期計画」見直し案(18日)

を受け、今後、名張がめざす教育と地域づくりのあり方で意見を交わし合う中で、農地問題など名張市がかかえている問題が出てきました。

市民の声や実態を行政や議会に届けて行くために、個々のテーマを掘り下げて行くことが求められます。

② 「下水道裁判」の原告として闘っているYさんから、一番棄却に対し、名古屋高裁に「名張市の行政責任と大倉建設の事業責任を問う」控訴をしたとの報告がされました。

※ 住宅団地の開発にあたっては、名張市の「指導要綱」で、下水道等公共施設の敷設は事業者の責任で行い、市に帰属するとなっています。つつしが丘団地の場合、市も事業者も約40年間移管に着手せず、住民は民間事業者に維持管理費用・下水道料金を払い続けてきました。

③ コミプラ施設撤去は10数年後なのにその費用を「負担金」として先に徴収する。やっぱりおかしい！

## ③ 累積赤字24億円(12年度見直し)をどう乗り切った？

(三原議員から報告を受けました。)

クリーンセンターの建設、土地開発公社の始末等で財政調整基金も枯渇状態になった市の乗り切り策は、

- 3つの目的基金と水道事業から約28億円を借り入れた。
- 借入金の償還は、据え置き期間を数年置くので元金償還はその後からになる(つまり6億円借り入れたらその年は6億円の歳入増となって6億円分の赤字は解消となる)

しかし、あちこちから借り入れた結果、償還期が集中する17年度以降は年間3～4億円の償還財源が必要となる。そこで、

- 固定資産税の超過課税の実施。(年間8.6億円の歳入増)
- コミプラ撤去負担金を一般財源化。

④ これって、「財政再建」したことになるの？

すみよい名張をめざす懇談会 2017/9月

連絡Tel 羽口:090-7865-8445、 松本(090-7872-5041)